

発行 令和7年2月号

倉掛社協だより

倉掛地区社会福祉協議会



倉掛公民館 開館 平成元年5月

倉掛公民館まつり (高陽東高校生)



倉掛児童館 開館 平成元年5月

児童館でのお楽しみ会 (カルタ大会)

倉掛地区社会福祉協議会 会長あいさつ

立春の候、皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より、倉掛地区社会福祉協議会の各事業の開催に、ご理解・ご協力・ご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。
少子高齢化や核家族化が進む中、コロナ禍も落ち着きましたが、インフルエンザとの併発により慎重な対応をおこないながら、諸行事を進めております。
令和7年度の行事も、地域の皆様と共に、融和連帯を図りながら、進めていきますので、ご協力・ご参加を宜しくお願い申し上げます。

会長 山竹善昭

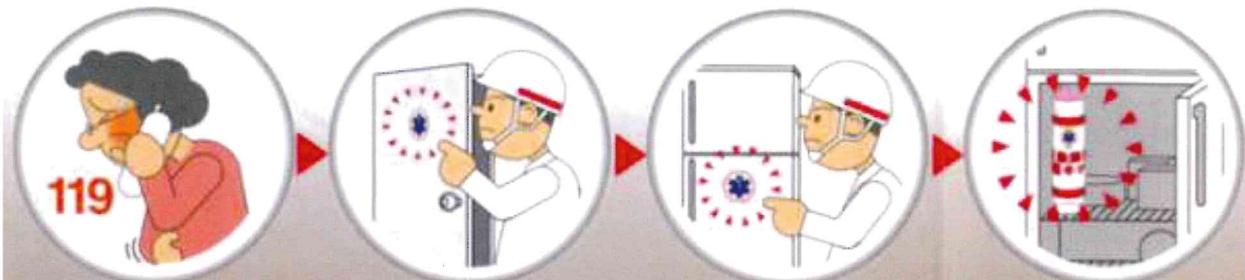
救急医療情報キット

救急医療情報キットとは

ひとり暮らしの高齢者や障害者等の安心・安全を確保するため、かかりつけ医や持病などの医療情報、緊急連絡先などの情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、万一の緊急時に備えるもの。「もしも・・・」の時に駆け付けた救急隊員が冷蔵庫から容器を取り出して情報を確認することで、適切で迅速な救急救命処置等に役立てるもの。また、緊急連絡先を記載するため、ご家族への連絡もスムーズに行えるようになる。



救急医療情報キット活用の流れ

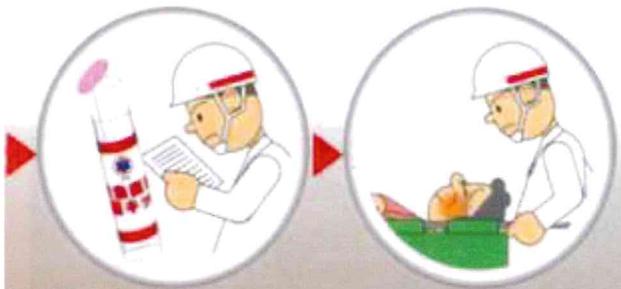


①具合が悪くなり、119番

②救急隊が到着し、玄関ドアの裏側を確認

③冷蔵庫のマグネットを確認

④冷蔵庫の中にあるキットを取り出す



⑤中身を確認し、情報を入手

⑥適切な処置をして病院へ搬送

救急医療情報キットのセット内容

(1) 円筒プラスチックケース(長さ22cm、直径7cm)

(2) 玄関内側貼り付け用ステッカー(シール)

(3) 冷蔵庫貼り付け用ステッカー(マグネット)

(4) 救急安心カード

救急医療情報キット活用の注意点

(1) 冷蔵庫の扉で保管する

⇒ そもそも、冷蔵庫で保管する理由は、ほとんどのお宅で冷蔵庫は台所にあり、キットの保管場所が分かりやすく素早く、取り出すことができるようにするため。

キットを冷蔵庫の奥にしまわないよう、扉で保管する。

また、冷凍庫での保管は、凍り付いてしまう危険性があるため辞めること。

(2) 救急安心カードを更新する

⇒ 救急安心カード内容に変更があった場合は、その都度訂正し、常に最新の情報に更新すること。

(3) 救急医療情報キットを活用しない場合もある

⇒ 救急医療情報キットは、救急隊が救急活動に必要と判断した場合に活用するため、キット保持者であることが分かっている場合でも、その救急活動によっては活用されない場合もある。

(4) 救急医療情報キットを渡して終わりではない

⇒ キットを渡して終わりではなく、キットの情報を更新しているかどうかを確認しあったり、お互いに見守りあって安否を確認することが重要。

救急医療情報キットのご用命は下記の担当者に連絡ください

末光地区	山竹 善昭
諸木地区	井手下誓明
光掛地区	松本 敏昭
倉掛1丁目	相川 孝之
倉掛1丁目	水重 善成

倉掛2丁目	野口 葉子
倉掛2丁目	大塚 宏枝
倉掛3丁目	諏訪 忠宏
倉掛3丁目	迫田 光之
倉掛3丁目	宗山 文子

かかりつけ医について

かかりつけ医とは『健康に関することをなんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う』総合的な能力を有する医師です。

医療体制

- ①次医療 普段から健康相談が受けられる、かかりつけ医を中心とした地域医療
- ②次医療 入院治療を主体とした医療活動がおおむね完結する医療
- ③次医療 先進的な技術や特殊な医療、発生頻度が低い疾病に関するものなどの医療需要に対応した医療

地域医療支援病院

病院、診療所などを後方支援する。医療機関の機能の役割分担と連携を目的とする都道府県知事から承認された下記病院です。

広島総合病院・広島赤十字病院・原爆病院・県立広島病院・広島市立広島市民病院
広島市立北部医療センター安佐市民病院・広島記念病院・JR広島病院 など。

特定機能病院

高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力を備えた、厚生労働省から承認された病院です。

広島大学・岡山大学・山口大学 など。

「もんちっち夏バージョン」を開催しました



令和6年8月8日

しゃぼん玉遊び・プール遊び・噴水 もあったよ。

熱中症アラートが連続発令されている、酷暑のなかでの開催だったけど、参加者も多くみんなで楽しみました。

もんちっち卒業のお兄さんお姉さんにも、手伝ってもらって、みんなで楽しく遊びました。

今年は、広島中等教育学校の生徒さんも一緒に参加され取材もされました。

もんちっちの活動年数は20年を超えました。

倉掛地区の「へえ～ そうだったのか」情報コーナー

高陽町はかつて広島県安佐郡に存在していた町でした。

高陽町の歴史

1889年4月1日

「市町村」施行。

当時、町域には高宮郡に属する狩小川・口田・深川の村がありました。

1895年9月1日

深川村のうち 岩上・玖・末光・諸木 が分離独立して落合村となりました。独立の理由は、当時落合地域は下駄等の木履生産が盛んであったが、深川地域は農業が中心であり、人情風俗が異なっていたためだそうです。

1898年10月1日

高宮郡・沼田郡が統合して安佐郡が発足しました。

落合・狩小川・口田・深川の各村は安佐郡の所属となりました。

1955年3月31日

落合村・狩小川村・口田村・深川村が対等合併して高陽町が発足しました。

1973年3月20日に隣接する安佐郡の各町が広島市へ編入され「安佐郡」が消滅しました。（広島市高陽町〇〇等）

「安佐北区」は

1980年(昭和55年)4月1日

政令指定都市移行と同時に広島市安佐北区となりました。

高陽ニュータウンの歴史は

広島市中心部に隣接する高陽地区に、サラリーマンのベッタウンとして1971年に開発が決定されました。

当時の総理大臣だった田中角栄の『日本列島改造論』が話題になった翌1972年に造成が開始されました。

大阪の千里ニュータウン・東京の多摩ニュータウンについて3番目に広島の高陽ニュータウンが誕生したのです。

当時は中国・四国・九州最大の団地と宣伝されていたそうです。

終わりに

昨年は能登半島地震から始まり、インフルエンザ・新型コロナウイルスの流行などの災いの年で終わりました。

倉掛学区社会福祉協議会も、4年間の空白を回復してそれぞれの行事を再開しております。『にこにこサロン倉掛』『子育て広場もんちっち』『サロン百歳会』『ふれあい会食』『倉掛学区敬老会』『公民館まつり』など、令和7年も皆様が参加して楽しんで貰えるように推進してまいります。

寒暖差も大きい昨今ですが、健康で各行事に参加されることを期待しています。